



3

### 3.4 交流ラウンジ

庭園、テラス、ラウンジと空間がフラットで連続し、一体感のある空間が広がります。それにより地上にいるようなゆったりとした気分を味わうことができます。夕方には日が差し込み、遠く東山スカイタワーや名古屋の街並みを一望することができる眺めのいいスペースです。

### 5 図書館

図書館は、最も学生が集まるとされる4Fに設けます。情報検索コーナー、ブラウジングスペースを設け、常に知識に触れることのできる環境にします。また、電光掲示により書架情報や講演会、展示会などの関連行事情報を提供します。見晴らしもよく、東向きのため利用者には最適な環境です。



4



5

### 大学棟

|       |             |                                    |
|-------|-------------|------------------------------------|
| 6F    |             | 教員研究室・院生室・共同研究室                    |
| 5F    | 屋上テラス       | 講義室・演習室・教員研究室                      |
| 4F    | 交流ラウンジ(兼食堂) | 図書館                                |
| 3F    | 特別教室        | 講義室・演習室                            |
| 2F    | 特別教室        | 大講義室・非常勤講師室・会議室<br>理事長室・研究科長室・学部長室 |
| 1F    | 企画部・エントランス  | 事務室・書庫・印刷室<br>(教学課・管理課・支援センター)     |
| B1・B2 |             | 開架書庫                               |



2



1

### 1 正門前

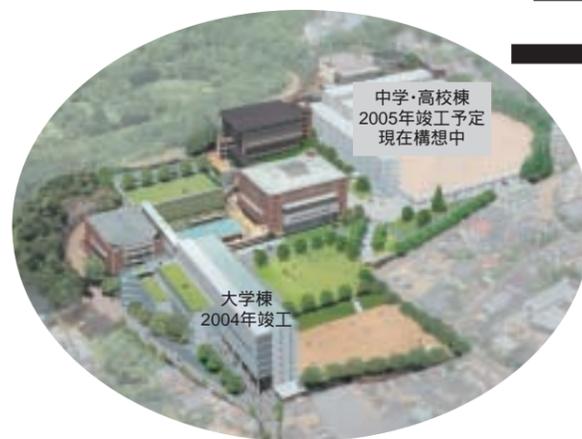
広小路通り側に対して存在感のある建物になっています。建物はシンプルかつ美しさを求めたデザインで、今後、大学に求められていくであろう先進性、洗練性、合理性による明快さを表現しています。

### 2 エントランス

正門を入ると目の前には大階段のピロティ空間が広がっています。この空間では様々なアクティビティが展開されることでしょう。先にはエスカレーターやエレベーターが続き、上の階へと進んでいきます。

創立100 愛知淑徳学園  
周年記念行事  
いよいよ始動

# 生まれ変わる 星が丘 キャンパス



中学・高校棟  
2005年竣工予定  
現在構想中

大学棟  
2004年竣工

愛知淑徳学園は1905年(明治38年)に創設された県内最初の高等女学校を母体として今日に至り、2005年に100周年を迎えます。女子教育といえば良妻賢母という風潮が主流だった時代に「質実剛健」の気風を取り入れて校訓のつとし、当時の女学校にはなかった数学や体育を教科にするなど、開学当初から常に時代の先を見つめ、10年先、20年先に役立つ人造りをめざし、絶えざる努力により教育の殿堂としての歴史を刻んできました。

1995年には、国籍・性別・世代を超えて「違いを共に生きる」という新しい理念のもと、大学が男女共学となり、現在、長久手キャンパスには3学部(文学部、現代社会学部、コミュニケーション学部)と大学院が3研究科(文学研究科、現代社会学研究科、コミュニケーション研究科)・星が丘キャンパスには1学部(文化創造学部)と女子の6年一貫教育を堅持する中学校・高等学校を擁し、それぞれの立場から教育、研究に意欲的に取り組んでいます。

そつした中で2005年には、学園創立100周年を迎えることとなります。これを機に学園全体のさらなる飛躍を目指して、文化創造学部と中学校、高等学校のある星が丘キャンパスが生まれ変わります。21世紀への時代の変化と未来を見据えたキャンパス再開発構想のもと、記念事業として新築することになりました。大学の理念を軸に「違いを共に生きる」開かれた大学として、国際化、情報化、生涯教育という現代社会の趨勢に対応し、これまで以上に地域社会の要請に応えていくことができるでしょう。

大学(文化創造学部)の入口は中心市街地と東名高速ICを結ぶ幹線道路の北側に面し、地下鉄星が丘駅から徒歩5分という便利な立地と南斜面の丘陵地という地形を生かし、次のとおり整備計画が着々と進んでいます。

1 中高大学のそれぞれの基本理念に符合する教育環境を整えるため、キャンパスの東側に中学・高校ゾーン、西側に大学ゾーンを配置して明確に分離する。

2 それぞれのゾーンで生徒・学生が憩える場を設け、その広場を中心に各施設の結びつきを連続的・総合的に強化し、明るく開放的な中高キャンパス、学研的で創造性に富んだ大学キャンパスを創り出す。

3 立体的に歩車分離し、歩行者の安全確保と緊急・サービス車両がすべての施設へアクセスできるような車両動線と各施設を渡り廊下などで結ぶ、雨に濡れない構内歩行者動線を確保する。

4 エスカレーター・エレベーターを効果的に配置し、バリアフリーな教育環境を整備する。

5 北側の背後に控える緑豊かな平和公園との自然環境的な融和、星が丘駅から連なる市街地環境との連続性、近隣住宅地へ配慮した騒音対策などを考慮して計画する。

大学棟の竣工予定は、2004年1月、中学・高校棟の竣工予定は、2005年6月です。